

(4) 令和2年度事業計画(案)について

	種 別	事 業 内 容	期 待 で き る 効 果	形態	備 考
1	丘陵地ワゴンタクシーの土日祝日運行(実証実験)	令和元年度から実施している丘陵地ワゴンタクシー土日祝日運行実証実験について、令和2年9月末までの利用実績を検証・評価し、令和3年度から本格運行への移行、見直し内容での運行又は廃止するか等を判断していく。	・丘陵地における高齢者等の移動手段の拡大による外出機会の創出が図れる。 ・多様化する利用者ニーズに応え、また生活利便性の向上が見込める。	継続	
2	ミニバス及びワゴンタクシーの路線見直し基準の運用	令和元年度に策定した「ミニバス及びワゴンタクシーの路線見直し基準」に基づき、利用実績を検証・評価し、必要に応じて既存路線の見直しを検討する。	・需要に応じた効率的な輸送を実現する。 ・財政負担額の際限なき拡大を抑制する。	新規	
3	地域協働型交通の導入ガイドラインの運用	令和元年度に策定した「地域協働型交通の導入ガイドライン」に基づき、新たな交通機関の導入に向けた機運が高まった地域を対象に、地域協働型交通の導入検討を行う。	・市内に点在する交通空白地域の解消が図れる。 ・路線維持の条件を明確に定め、市民の利用するという責任のもとで導入・維持を図れる。	新規	
4	モデル地域におけるボランティア型交通の導入検討	狭隘道路に起因し公共交通の乗入れが困難な地域について、ボランティア型交通の導入に向けて検討を進める。	狭隘道路等に起因する交通空白地域解消に向けた新たな手法の確立が図れる。	継続	
5	「これで安心！バスde行こうプログラム」の継続実施	利用促進PRに加え、これまで実施してきた乗継ぎ割引や乗継方法のPR等を、今後も継続的に実施していく。	利用者により多くの情報提供を行い、利用しやすい環境を創出することで、利便性の向上、利用率の向上が図れる。	継続	
6	バス・タクシー乗降環境整備	バス停の上屋・ベンチの設置等バス停別乗降者数や道路状況(歩道幅員、交通量等)に基づき設置の優先順位を検討し、運行事業者と連携を図りながら整備していく。また、バリアフリー対応等を目的とした既設ターミナルの改良を検討し、実施していく。	利用者にとってより利用しやすい環境改善を行い、利便性の向上、利用率の向上が図れる。	継続	

令和2年度スケジュール(案)

年月日	交通会議	ミニバスに関する事業	ワゴンタクシーに関する事業	その他事業
令和2年 4月				・ボランティア型交通の運行計画の検討・調整 ・地域協働型交通の導入ガイドラインの運用
6月	第38回交通会議 ・令和元年度決算 ・令和元年度利用状況の報告 ・見直し基準への適合状況の確認 ・ワゴン土日祝日運行継続基準の策定 ・交通空白地域モデル地区の進捗報告	・見直し基準への適合状況の確認 ・見直し内容の検討(基準に適合していれば)	・見直し基準への適合状況の確認 ・見直し内容の検討(基準に適合していれば)	
10月	第39回交通会議 ・見直し内容の検討(基準に適合していれば) ・来年度のワゴン土日祝日運行の判断 ・交通空白地域モデル地区の進捗報告		・土日祝日運行実証実験結果分析	
令和3年 2月	第40回交通会議 ・次年度予算、事業計画 ・各交通モードの次年度運行の確認 ・令和2年度利用状況報告 ・交通空白地域モデル地区の進捗報告			
4月				